



# ブックトープ豊橋

まちじゅう図書館プロジェクト

編集：ナカムラクニオ  
発行：豊橋市

## はじめに

小説やアニメの舞台になった場所や店を訪ね、登場人物に自分を重ねて楽しむ「ブックツーリズム」が注目されています。例えば、J・K・ローリングの小説『ハリー・ポッター』シリーズに登場するホグワーツ特急の始発駅として知られるロンドンの「キングス・クロス駅」。

「ホグワーツ特急は秘密の9¾番線に発着しますが、それは9番線と10番線間の煉瓦の壁を通り抜けたところにある……」と書かれているこの駅には、年間数万人のファンが訪れます。

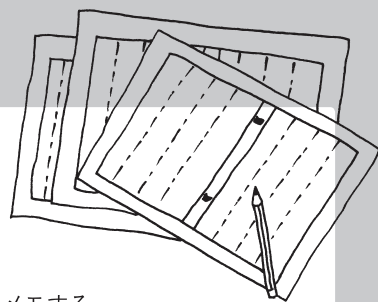
また、神奈川県鎌倉市の江ノ島電鉄「鎌倉高校前」駅近くにある

踏切は、アニメ「スラムダンク」の舞台のモデルになった場所。台湾を中心に世界各国から観光客の押し寄せると人気スポットになっています。このように近年、観光の手法としても注目される「ブックツーリズム」の観点で、「豊橋」をリサーチし、これまでにない「読書で歩く」小説を書いてみたいといったどんな作品ができるのでしょうか？

そもそも「本」と「町」は似ています。どちらも五感で楽しむエンターテインメントです。作品の舞台を歩いてみると「景色」が細かく描写されており、場所は「記号」として読者の心に景色を再現します。小説を読んだ後、その場所を歩くと、自分の日常が物語になります。名作の舞台を歩きながら、作品が生まれた場所や作家の愛した景色を訪ねてみると、読んだ時にはまったく気がつかなかった楽しみが発見できます。

また描かれた町の人々も「物語」そのものです。それぞれの物語

## まち小説のつくり方



### 1 散歩してみる

気になるモノ・コト・ヒトをメモする

### 2 話を聞いてみる

小説の題材になりそうな場所に突撃取材

### 3 題名を考えてみる

集めたキーワードをつなげて面白いタイトルを考える

### 4 あらすじを考える

起承転結になっていなくてもOK

### 5 最後まで書いてみる

とりあえずできるところから書いてみる

### 6 すいこう推敲して完成させる

誤字脱字を確認し、完成！



をまといながら、生きています。

この「ブックトープ豊橋／まちじゅう図書館プロジェクト」は、物語に出でくる場所を巡りながら、「本」と「町の人々」を巡るための新しい試み。「視覚」「聴覚」「触覚」「味覚」「嗅覚」の五感で本と町を冒険する実験です。

豊橋を「足で読む」マジカルミステリーツアーへ出かけましょう。

## 目次

002	はじめに	
005	まち小説の作り方	
012	ことりフレンズ	鳥子酉雄
018	ビルケシ	本庄由幸
021	看板犬の秘密の一日	佐藤杏耶
024	独占インタビュー「水上ビルさんに聞く」	河合鉄夫
028	だがし屋さんのおばあさんの秘密	木下明美
032	マスターと捨て猫チャーハン	山崎敏乃

036	瞳、シャッターを切る	加藤まり恵
041	水上ビルのアコーデオンの弾き	栗作武宏
045	友情シャーペンシルと日記の色	海月岬
055	”新し”だけじゃない街	竹森みえ
060	はちみつの夜	竹森裕紀
064	ビルになった船たち	朝岡みゆき
068	先代は子煩悩だった	豊田健一
072	ビルの下に川は流れる	北川裕子
076	時の狭間に狭間橋	磯村彩葉
084	影珈琲	ナカムラクニオ
088	おわりに	



町は、巨大な図書館。  
図書館は、巨大な町。



場所に必要なのは、物語。  
物語に必要なのは、場所。